

お茶の水女子大学共創工学部

設置の趣旨等を記載した書類 添付資料

目次

添付資料 1	共創工学部、人間環境工学科、文化情報工学科 養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ ポリシー、アドミッション・ポリシーとの関連図 ・・・・・・・・ 2
添付資料 2	共創工学学修ポートフォリオ（仮称） ・・・・・・・・ 5
添付資料 3	カリキュラムマップ ・・・・・・・・ 6
添付資料 4	履修モデル ・・・・・・・・ 8
添付資料 5	研究領域と教員構成 ・・・・・・・・ 19

< 共創工学部 >

添付資料1

教育目標 (人材像)	学習目標 (DP)
<p>人材像1 (共創工学人材)</p> <p>多様性を包摂し持続可能で豊かな文化を有する社会の実現に向け、工学と人文学・社会科学の協働の意義を理解した上で、人間中心の新しい技術や文化を共創できる人材の育成を目標とする。</p>	<p>A 教養力 自然科学、人文学、社会科学を俯瞰する総合的な教養とコミュニケーション力（外国語を含む）を身につける。</p>
<p>人材像2 (専門協働力)</p> <p>そのために、協働の基となる工学、データサイエンスならびに人文学・社会科学の知識と技能を身につけた上で、工学的手法によって、新たな技術や文化すなわちモノやコトを考案・創造し、価値創造に貢献できる人材、</p>	<p>B 専門力 工学と人文学・社会科学の協働の意義を理解し、</p> <p>①専門知 工学、データサイエンス、人文学・社会科学の知識・技能に基づき、</p> <p>②発見力 多様なデータと視点から課題を発見する力、</p> <p>③発想力 課題の解決に向け、新たな技術や文化（モノやコト）を考案する力を身につける。</p>
<p>人材像3 (社会実践力)</p> <p>社会と文化のイノベーションの推進を目指して、新たな技術や文化を、社会との対話を通じて実装・普及できる人材、</p>	<p>C 社会実践力(モノ・コトづくり)</p> <p>イノベーションの推進に求められる、新たな技術や文化を社会で実践・普及させる力として、</p> <p>④デザイン力 課題解決のアイデアを具現化し、設計・評価する力、</p> <p>⑤対話力 発見・発想・デザインをステークホルダーと共有し、ディスカッションする力を身につける。</p> <p>①～⑤を、5つの共創能力と呼ぶ。</p>
<p>人材像4 (グローバルリーダーシップ)</p> <p>グローバルな視点からリーダーシップを発揮できる人材を養成する。</p>	<p>D グローバル・リーダーシップ グローバルな視点から問題を把握し、人々との対話や協働を主導するリーダーシップを身につける。</p>

CP
<p>1. (共創工学人材)</p> <p>人文学・社会科学と協働する工学を学修し、工学設計やデータサイエンス等の技能を修得した上で、社会的文化的課題解決や社会と文化のイノベーションを目指して、新たなモノや価値を創造し、社会で実践する力を身につける。 (DPとの関係: ABCDに対応)</p>
<p>2.教養知</p> <p>コア科目(教養科目)等の履修によって、自然科学、人文学、社会科学を俯瞰する総合的な教養と外国語力や情報処理能力及びリーダーシップを身につける。 (DPとの関係: A教養力、Dグローバル・リーダーシップに対応)</p>
<p>3.複数プログラム選択履修制度 (主プログラム、強化プログラム、副プログラム、学際プログラムの4つから構成)</p> <p>■第1のプログラム(必修) ・主プログラムー所属学科が開設</p> <p>■第2のプログラム(選択必修)…次の3つから1つを選択 ・強化プログラムー専門領域に深く特化するプログラム(所属学科が開設) ・副プログラムー他の専門領域を横断して学ぶプログラム(所属学科以外が開設) ・学際プログラムー領域融合型・学際型のプログラム(所属学科以外が開設)</p> <p>人間環境工学科及び文化情報工学科の主プログラム、強化プログラムに、 ・専門知識を体系的かつ能動的に学修する、各学科の「基礎科目群」「発展科目群」を置く。 ・共創・協働の意義とプロセスを理解し、専門知に立脚した社会実践力を身につける「共創工学共通科目群」「共創工学応用科目群」を置く。 「4つの科目群」によって、①専門知を協働させ、②課題を発見し(発見力)、③解決策を考案し(発想力)、イノベーションの推進を目指して、④アイデアを設計・評価し(デザイン力)、⑤社会と対話する力(対話力)を身につける(5つの共創能力)。</p>
<p>4.卒業研究(主プログラム)(必修)</p> <p>専門性に基づき、新たな技術や文化や価値(モノやコト)を創造し、社会実践する力を自らのものとするため、卒業研究を必修とする。教員の指導のもとに研究テーマに関わる実験・実習・資料の収集・加工を行い、そうして得られたデータや資料を分析し、卒業論文(又は作品)を完成する。 (DPとの関係: B専門力、C社会実践力に対応 5つの共創能力を身につける)</p>
<p>5.建築士、博物館学芸員、GIS学術士、地域調査士</p> <p>建築士(一級、二級)受験資格、博物館学芸員資格、GIS学術士資格及び地域調査士の取得に関わる科目を履修することができる。 (DPとの関係: C社会実践力に対応)</p>
<p>6.評価方法</p> <p>各科目の学修成果は、その到達目標や学習内容等に応じて、期末試験、レポート、小テスト、発表、授業への参加態度等によって評価し、具体的な評価方法は、シラバスに明示する。 共創能力の育成・評価については、共創工学共通科目及び共創工学応用科目を中心に、学修ポートフォリオを用いて、総合的かつ継続的な指導を行う。(DPとの関係: ABCDに対応)</p>

AP
<p>1. (共創工学人材)</p> <p>工学専門領域が連携しながら、人文学・社会科学と協働し、新しい技術や文化を創り、社会との対話を通じて新たな価値を実践・普及するグローバルリーダーを目指す人。 (DP ABCDに対応)</p>
<p>2.専門・協働への興味</p> <p>自然科学・工学と人文学・社会科学の協働、データサイエンスやICT(情報通信技術)に強い興味を持つ人。(DPBに対応)</p>
<p>3.社会実践(モノ・コトづくり)への意欲</p> <p>科学技術を用いた社会や文化のイノベーションの推進に意欲を持つ人。(DPCに対応)</p>

<人間環境工学科>

教育目標 (人材像)	学習目標 (DP)	CP	AP
<p>人材像1 (共創工学人材)</p> <p>社会課題解決に向けて、工学と人文・社会科学の知を協働させることで、人々のための豊かな環境や技術を創造し、その普及に取組む人材の育成を目標とする。</p>		<p>1. (共創工学人材)</p> <p>持続可能な環境、多様な人々の包摂、安全で豊かな生活の実現に向けて、人間とそれを取り巻く環境を深く観察し、課題を発見し、モノ・人・空間に新たな価値を創造する能力を身につける。さらに、イノベーション推進の観点から、課題解決で社会で実践する基礎的な力を習得する。(DPとの関係: ABCDに対応)</p>	<p>1. (共創工学人材)</p> <p>人々との協働のもと、イノベーションの社会实践を通じて新たな価値の創成にチャレンジする女性リーダーを目指す人。(DPA-DPCに対応)</p>
	<p>A 教養力</p> <p>自然科学、人文・社会科学を俯瞰する総合的な教養とコミュニケーション力(外国語を含む)を持ち、</p>	<p>2. 教養知</p> <p>コア科目(教養科目)等を履修し、社会・文化、自然・環境に関する幅広い教養に加え、問題解決に不可欠な科学的な思考能力とコミュニケーション力を総合的に学習し、物事を広く俯瞰する知性を身につける。(DPとの関係: A教養力に対応)</p>	<p>2. 理科系を中心とする基礎学力</p> <p>持続可能な環境を構想するために求められる科学的思考力と設計力を修得するのに必要な、理科系を中心とする基礎学力を持つ人。(DPAに対応)</p>
<p>人材像2 (専門協働力)</p> <p>そのために、人間や環境に関する工学諸分野の専門知識に基づいて、サステイナブルで安心安全な社会のための人間中心の住環境や新しい技術(モノやコト)を考案・創造できる人材、</p>	<p>B 専門力</p> <p>① 専門知 社会科学と協働する理工系の知識とデータサイエンスの専門性を身につける。</p> <p>② 発見力 さらに、幅広い視点から環境や社会に関する課題を見出し、</p> <p>③ 発想力 工学的発想により新たな技術や価値を考案し、</p>	<p>3. 複数プログラム選択履修制度 (主プログラム、強化プログラム、副プログラム、学際プログラムの4つから構成)</p> <p>■第1のプログラム・主プログラム(必修) ■第2のプログラム・強化プログラム(選択必修)</p> <p>「人間環境工学基礎科目群」(工学系) 一人間工学、環境工学の基盤となる理工学の基礎科目を講義・実験・演習により習得する。</p> <p>「人間環境工学基礎科目群」(共創系) 各領域の知識をつなぎながら演習を中心に実践的に設計・デザインやデータサイエンスを学び、知識を広げ共創する技術を習得する。</p> <p>「人間環境工学発展科目群」 「基礎科目群」の基礎の上に、3つの領域(人間領域、マテリアル領域、環境領域)の知識・技能を深める。</p> <p>「共創工学共通科目群」 共創・協働の意義とプロセスを理解し、専門知を社会実装していく能力を涵養する。</p> <p>「共創工学応用科目群」 最終段階として、本科目群における各領域の実験実習や専門知識を用いたPBL演習を通じて、社会での実践・普及に必要な力を身につける。</p> <p>「4つの科目群」によって、①専門知を協働させ、②課題を発見し、③解決策を考案し、イノベーションの推進を目指して、④アイデアを設計・評価し、⑤社会と対話する力を身につける(5つの共創能力)。</p> <p>■第2のプログラム(次のプログラムから選択も可能)</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化情報工学学際プログラム(共創工学部が開設) 情報科学副プログラム、生命情報学学際プログラム(理学部が開設) 消費者学学際プログラム(生活科学部が開設) <p>上記の領域についての専門的知識と思考力を高めることもできる。</p> <p>4. 卒業研究(主プログラム)</p> <p>卒業年次には、指導教員のもとで、社会的な課題解決や実践に関わる先行研究の調査のち実験調査・開発・設計などの実験・調査・開発・設計などの卒業研究を提出し、口述・審査を受ける。</p> <p>(DPとの関係: B専門力、C社会実践力に対応 5つの共創能力を身につける)</p>	<p>3. 専門・協働への興味</p> <p>自然科学・工学と人文・社会科学の協働、データサイエンスやICT(情報通信技術)に強い興味を持ち、人間、環境、材料分野などの工学系分野に関する専門知識の修得に意欲のある人。(DPBに対応)</p>
<p>人材像3 (社会実践力)</p> <p>社会イノベーションの推進を目指し、共創としての社会との対話により、新しい技術を実装・普及できる人材を養成する。</p>	<p>C 社会実践力(モノ・コトづくり)</p> <p>社会のイノベーションの推進を目指して、</p> <p>④ デザイン力 それを設計・評価し、</p> <p>⑤ 対話力 社会との対話を通じて実践する力を身につける。</p>	<p>5. 建築士、博物館学芸員</p> <p>建築士(一級、二級)受験資格及び博物館学芸員資格の取得に関わる科目を履修することができる。(DPとの関係: C社会実践力に対応)</p>	<p>4. 社会実践(モノ・コトづくり)への意欲(社会課題解決)</p> <p>環境や社会から独自に疑問を見出す課題発見力と科学技術を用いた工学的アプローチによる問題解決策の発想力、設計力(デザイン力)を身につけたいと考える人。(DPB、DPCに対応)</p>

<文化情報工学科>

教育目標 (人材像)	学習目標 (DP)	CP	AP
<p>人材像 1 (共創工学人材)</p> <p>多様性を包摂し持続可能で豊かな文化を有する社会の実現に向け、人文学・社会科学と工学の知を協働し、新しい文化や価値を共創できる人材の育成を目標とする。</p>	<p>A 教養力</p> <p>自然科学、人文学、社会科学を俯瞰する総合的な教養とコミュニケーション力（外国語を含む）を持ち、</p>	<p>1. (共創工学人材)</p> <p>人間の文化や社会に関わる諸問題を、データサイエンスや工学的な発想・技術を用いて解決していく能力、すなわち深く幅広い知識を習得し、必要な資料・データを収集・整理・解析した上で、新しい文化や価値を創造し、社会で実践する力を身につける。 (DPとの関係：ABCDに対応)</p>	<p>1. (共創工学人材)</p> <p>文理の別に拘わらず、人間や社会で生起する事象に対する幅広い知的好奇心と、データや論理的思考で自ら解明していく意欲及び探究力を持っており、その結果を社会での発信や実践につなげる意志を持つ人。(DPA～DPCに対応)</p>
<p>人材像 2 (専門協働力)</p> <p>そのために、人間の文化と社会に関わる資料をデジタル技術によって収集・加工し、データサイエンスを応用して多角的に解析し、工学的な発見・発想と技術を用い、文化や価値を考案・創造する人材、</p>	<p>B 専門力</p> <p>①専門知 人間の文化と社会に関わる知識（人文知）とデータサイエンスを結びつけ、</p> <p>②発見力 課題を見出し、</p> <p>③発想力 工学的発想や技術により新たな文化や価値を考案し、</p>	<p>2. 教養知</p> <p>コア科目（教養科目）等を履修し、人間・社会・文化、自然・環境に関する幅広い知識と問題解決に不可欠な科学的な思考能力、ならびに、コミュニケーション力や情報処理能力を総合的に学習する。(DPとの関係：A教養力に対応)</p> <p>3. 複数プログラム選択履修制度 (主プログラム、強化プログラム、副プログラム、学際プログラムの4つから構成)</p> <p>■第1のプログラム・主プログラム（必修） ■第2のプログラム・強化プログラム（選択必修）</p> <p>「文化情報工学基礎科目群」「文化情報工学発展科目群」－人文学、データサイエンス、情報工学の基礎を身につけ、この上に、人文学とデータサイエンスを協働する人文情報学や情報工学を学修し、さらに情報工学との協働を活かして、人文学に関わるデジタルデータの収集と加工、解析と可視化する能力を身につける。</p> <p>「共創工学共通科目群」－共創・協働の意義とプロセスを理解し、専門知を社会実装していく能力を涵養する。 「共創工学応用科目群」－工学的発想や技術を用いて、課題解決のためのアイデアを作品・表現などとして具現化し、社会での実践・普及に必要な力を身につける。</p> <p>これら「4つの科目群」によって、①専門知を協働させ、②課題を発見し、③解決策を考案し、イノベーションの推進を目指して、④アイデアを設計・評価し、⑤社会と対話する力を身につける（5つの共創能力）。</p>	<p>2. 専門への興味</p> <p>人間の文化や社会に関心を持ち、コンピュータや情報通信技術に興味を持ち、自分の手でものを作ることが好きな人。(DPBに対応)</p> <p>3. データサイエンスと情報工学への関心と進路</p> <p>データサイエンスの基礎知識を用いた社会や文化の分析に関心を持ち、将来、データサイエンスや情報通信技術の知識や技能を活用する職業につきたい人。(DPB、DPCに対応)</p>
<p>人材像 3 (社会実践力)</p> <p>文化のイノベーションの推進を目指して、社会との対話のもとに、新たな文化や価値の実装・普及ができる人材を養成する。</p>	<p>C 社会実践力(モノ・コトづくり)</p> <p>文化のイノベーションの推進を目指して、</p> <p>④デザイン力 それを作品や表現として具現化し、</p> <p>⑤対話力 様々な人々との対話を通じて、社会での実践を図る力を身につける。</p>	<p>■第2のプログラム（次のプログラムからも選択可能）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人文知に関わる副・学際プログラム（文教育学部、生活科学部が開設） ・人間環境工学学際プログラム（共創工学部が開設） ・情報科学副プログラム（理学部が開設） <p>上記の領域についての専門的知識と思考力を高めることもできる。</p> <p>4. 卒業研究（主プログラム）</p> <p>卒業研究では、研究テーマに関わる実験・実習・資料の収集・加工を行い、得られたデータや資料を分析し、卒業論文（又は作品）を完成する。</p> <p>(DPとの関係：B専門力、C社会実践力に対応 5つの共創能力を身につける)</p>	<p>4. 協働・社会実践(モノ・コトづくり)への意欲（文化創造）</p> <p>文化の創造に関心を持ち、データサイエンスや工学の基礎知識や技能を用いた作品の創造や発信、多様な人々との協働を通じた社会での実践を志す人。 (DPCに対応)</p>
		<p>5. 博物館学芸員、GIS学術士、地域調査士</p> <p>博物館学芸員資格、GIS学術士資格及び地域調査士資格の取得に関わる科目を履修することができる。(DPとの関係：C社会実践力に対応)</p>	

教務システム
webシラバス

育成する共創能力を明示

授業の到達目標 (育成する共創能力)	授業計画	育成・評価 する共創能力
	1 本授業の目的・概要・評価等について説明する。	
クリエイティブなイノベーションを実現するために必要となるデザイン思考の考え方を理解する。(専門知、発見力、発想力、対話力)	2 クリエイティビティの高いイノベーションを生み出すための各種手法について座学的に理解を深める。	専門知 (小テスト)
	3 ゲスト講師によるデザイン思考のグループワークを行う。(1/2)	発見力 発想力 (グループワークの成果) 対話力 (発表とディスカッションでの発言)
	4 ゲスト講師によるデザイン思考のグループワークを行う。(2/2)	
	5 各グループは共創工学における各種社会課題から一つを選んでデザイン思考に基づくワークを行い、解決策を考える。	
	6 同上(ワーク)	
	7 同上(発表)	

成績入力

科目担当教員が
成績評価に反映



ルーブリック

コンピテンシー 共創能力	1	2	3	4	5
専門知					
発見力					
発想力					
デザイン力					
対話力					

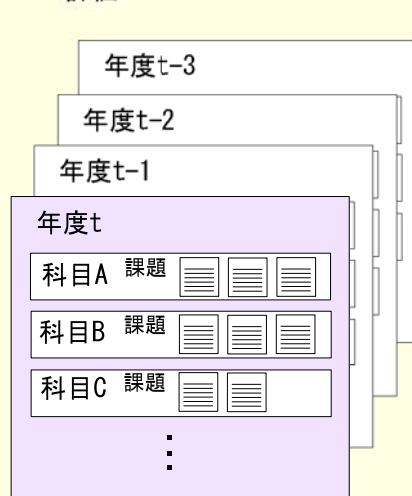
評価の基準

共創工学共通科目を中心に
ルーブリック評価を導入
(教員による評価、学生の自己評価)

Moodleの「課題」「コンピテンシー」
機能を使用

コモン・ルーブリックをもとに、年度ごとに
科目別(もしくは課題別)ルーブリックを作成し、
Moodleの当該科目に明示

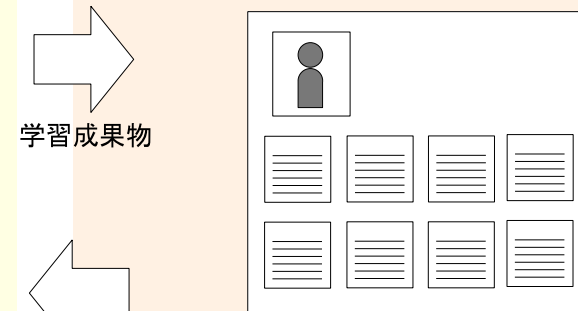
年度・科目別ルーブリック
課題提出
評価



電子ポートフォリオ

自分の学習ポリシー
提出課題等の学習成果物の蓄積(年度・科目横断)
⇒自己評価

閲覧 学内 (学部教員、学科教員、学生)
学外から (学生が任意に選択可能)
⇒他者評価



学習成果物

サイトとして提出可能

学生と学年指導教員による
対面ポートフォリオ評価(各学年)
個人面談/グループ面談、毎年度9月に実施

- ・何を達成したのか(／できなかったのか)
- ・それがなぜ評価されるのか(／評価が低いのか)
⇒達成感、自尊心、自己効力感を高める(／内省)
- ・次の課題・目標が何かを話し合いながら考える
⇒学習活動の自己管理
(電子ポートフォリオの自分の学習ポリシーへ)



共創工学部人間環境工学科 カリキュラムマップ

添付資料3

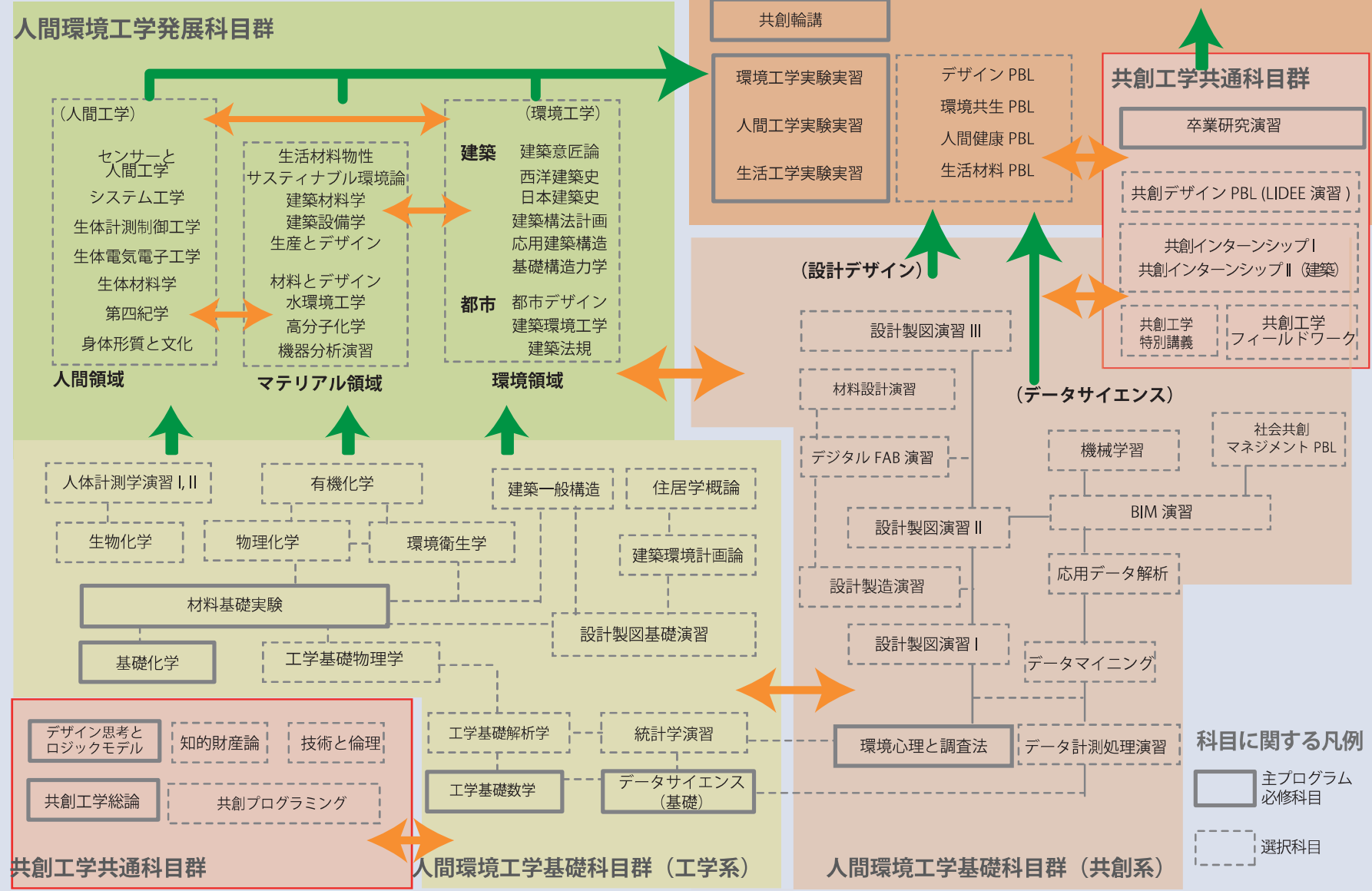
養成する人材像

社会課題解決に向けて、工学と人文・社会科学の知を協働させることで、人々のための豊かな環境や技術を創造し、その普及に取組む人材の育成を目標とする

カリキュラム・ポリシー

人間環境工学科の主プログラム（第1のプログラム、必修）及び強化プログラム（第2のプログラム、選択必修）では、人間環境工学基礎科目群（工学系）によって、人間工学、環境工学の基盤となる理工学の基礎科目を講義・実験・演習により習得する。また人間環境工学基礎科目群（共創系）により、各領域の知識をつなぎながら演習を中心に実践的に設計・デザインやデータサイエンスを学び、知識を広げ共創する技術を習得する。この基礎の上に、人間環境工学発展科目群によって、3つの領域（人間領域、マテリアル領域、環境領域）の知識・技能を深める。共創工学共通科目群によって、共創・協働の意義とプロセスを理解し、専門知を社会実装していく能力を涵養する。最終段階として、共創工学応用科目群における、各領域の実験実習や専門知識を用いたPBL演習を通じて、社会での実践・普及に必要な力を身につける。4つの科目群によって、①専門知を協働させ、②課題を発見し、③解決策を考案し、イノベーションの推進を目指して、④アイデアを設計・評価し、⑤社会と対話する力を身につける（5つの共創能力）。

卒業年には指導教員のもとで、社会的な課題解決や実践に関わる先行研究の調査ののうち実験・調査・開発・設計などの卒業研究を提出し、口述・審査を受ける。



科目に関する凡例
 [Solid Box] 主プログラム必修科目
 [Dashed Box] 選択科目

↔ 共創・協働
 ↑ 専門性の育成

全学科目 (教養・キャリア教育)	文理融合リベラルアーツ 水と安全保障 知覚認知と環境デザイン 生物人類学	基礎講義 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門	その他の関連科目 測量学	情報 情報処理演習	外国語 英語 ドイツ語 フランス語 中国語 など	キャリアデザインプログラム アントレプレナーシップ
-------------------------	--	-------------------------------------	------------------------	---------------------	--	-------------------------------------

共創工学部文化情報工学科 カリキュラムマップ

養成する人材像

多様性を包摂し持続可能で豊かな文化を有する社会の実現に向け、人文学・社会科学と工学の知を協働し、新しい文化や価値を共創できる人材の育成を目標とする。

カリキュラム・ポリシー

文化情報工学科の主プログラム（第1のプログラム、必修）及び強化プログラム（第2のプログラム、選択必修）では、文化情報工学基礎科目群と文化情報工学発展科目群によって、人文学・データサイエンス、情報工学の基礎を身につけ、この上に、人文学とデータサイエンスを協働（1）する人文情報学を学び、さらに情報工学との協働（2）を活かして、人文学に関わるデジタルデータの収集と加工、解析と可視化する能力を身につける。共創工学共通科目群によって共創・協働の意義とプロセス（3）を理解し、専門知を社会実装（4）していく能力を涵養し、さらに共創工学応用科目群によって、工学的発想や技術を用いて、課題解決のためのアイデアを作品・表現などとして具現化（5）し、社会での実践・普及に必要な力を身につける。これら4つの科目群によって、①専門知を協働させ、②課題を発見し、③解決策を考案し、イノベーションの推進を目指して、④アイデアを設計・評価し、⑤社会と対話する力を身につける（5つの共創能力）。

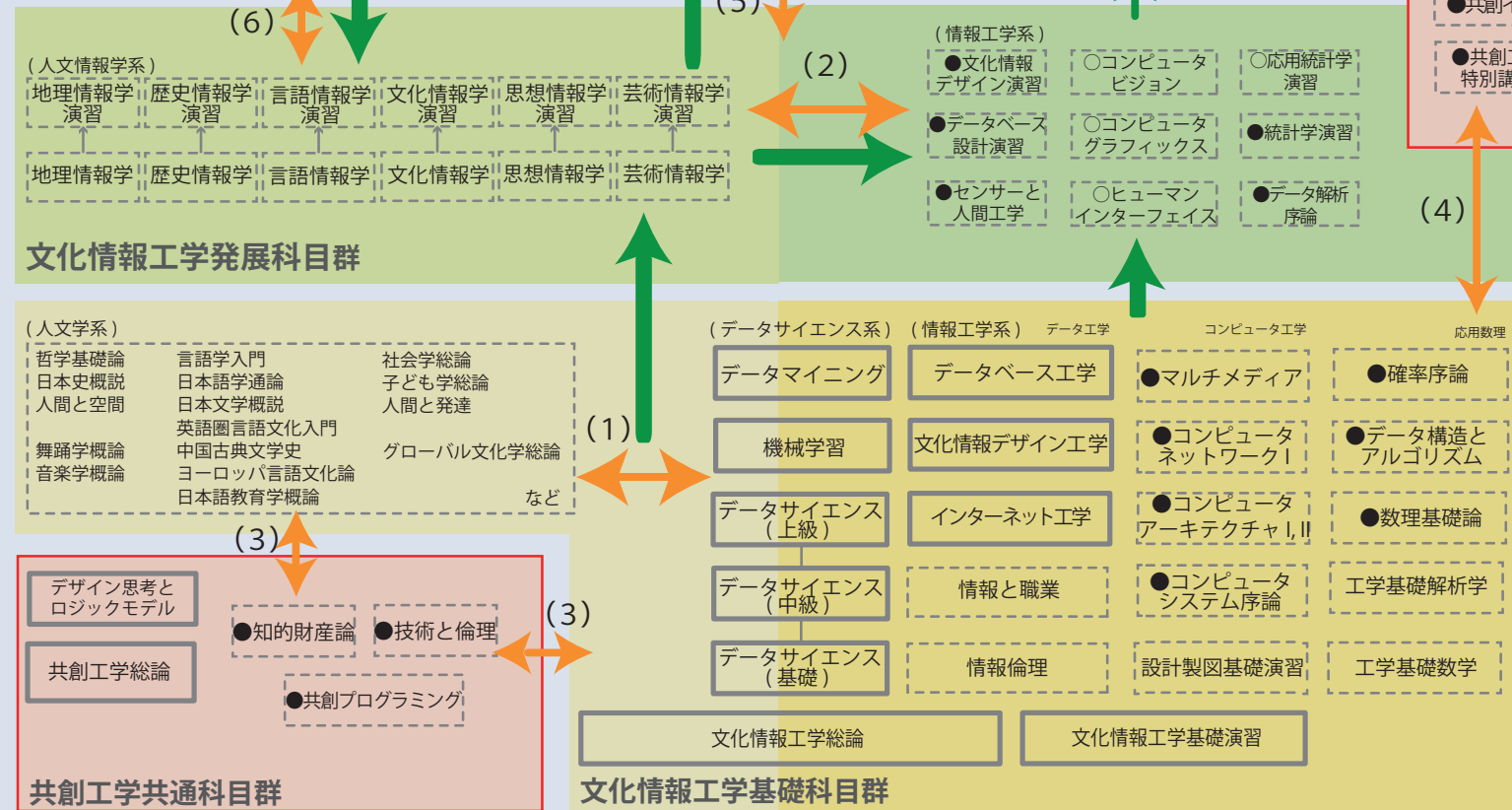
第2のプログラムに関しては、人文学に関わる副・学際プログラム（科目例を掲載）のいずれか、人間環境工学学際プログラム、情報科学副プログラムを選択し、それらの領域について専門的知識と思考力を高めることもできる（6）。

卒業研究では、研究テーマに関わる実験・実習・資料の収集・加工を行い、得られたデータや資料を分析し、卒業論文（又は作品）を完成する。

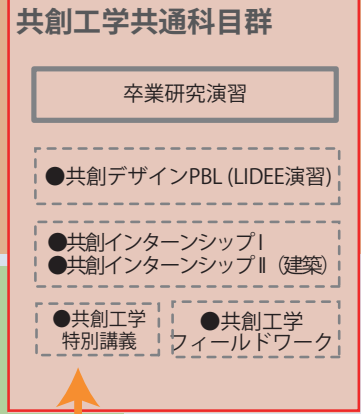
(人文学系副・学際プログラム)

※主なプログラムおよび科目例を掲載

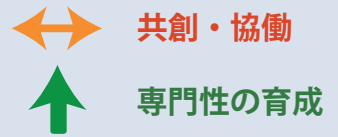
地理環境学 都市・福祉 地理学演習Ⅰ・Ⅱ	比較歴史学 日本古代史 日演習Ⅰ・Ⅱ	中国語圏言語文化 中国語文法論	日本語・日本文学 日本古典文学 論特殊講義Ⅱ	哲学・倫理学・美術史 哲学演習
地理学分析 基礎演習Ⅰ・Ⅱ	日本古代 中世文化史	日中対照 言語学	日本古典文学 論特殊研究 (中世)・(近世)	宗教と倫理学
地図学	歴史史料学	中国語作文 応用演習	日本文学論 講読Ⅱ・Ⅲ	哲学A・B
都市地理学	古文書学	中国語統語論	日本語語彙論	哲学概論Ⅰ・Ⅱ



共創工学応用科目群 (文化情報工学)



- ### 科目に関する凡例
- 主プログラム 必修科目 (Solid box)
 - 選択科目 (Dashed box)
 - 強化プログラム 科目 (Circle icon)
 - 主・強化プログラム 科目 (兼用) (Dot icon)



添付資料4

履修モデルA	医療福祉関係の機器やサービス、健康に関わる身体情報の専門家
履修プログラム	主：人間環境工学 強化：人間環境工学
進路の例	機器メーカー（開発）、商品開発や支援サービスなどの立案、情報技術に関するコンサルティング

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目 文理融合リベラル アーツ 基礎講義、語学など	LA科目、基礎講義 (関心に応じて 2単位) 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎英語I 中国語初歩I	色・音・香10: 色・音・空気(香)と 空間デザイン マクロ経済学入門 生命と環境4: 生物人類学 基礎英語II 中国語初歩II	生活世界の安全保障9: 水の安全保障 ミクロ経済学入門 中級英語I	LA科目、基礎講義 (関心に応じて 2単位) 中級英語II	LA科目、基礎講義 (関心に応じて 4単位)			
人間環境工学基礎科目群 (工学系)	工学基礎数学 基礎化学 工学基礎物理学	工学基礎解析学 データサイエンス (基礎) 基礎構造力学 設計製図基礎演習	材料基礎実験 工学基礎物理学 人体計測学演習I 人体計測学演習II 建築環境計画論 データサイエンス (中級)	統計学演習				
人間環境工学基礎科目群 (共創系)		データ計測処理演習	設計製図演習I 設計製造演習	環境心理と調査法	社会共創マネジメントPBL デジタルファブリケー ション演習 機械学習	応用データ解析		
人間環境工学発展科目群	身体形質と文化			生体計測制御工学 センサーと人間工学	第四紀学	生体電気電子工学 システム工学		
共創工学共通科目群	共創工学総論	共創プログラミング 【1】	デザイン思考と ロジックモデル 知的財産論【1】 共創デザインPBL (LIDEE演習) I 【1】	共創工学フィールド ワーク	共創インターンシップ I 共創デザインPBL (LIDEE演習) II 【1】		卒業研究演習	
共創工学応用科目群 (人間環境工学)					環境工学実験実習 生活工学実験実習 人間工学実験実習	人間健康PBL【1】 環境共生PBL【1】	卒業研究【10】	共創輪講
履修単位数	41 単位		40 単位		29 単位		14 単位	
内コア科目単位数	20 単位		10 単位		4 単位			

合計 124 単位
内コア科目 34 単位

履修モデルB 機能性材料の開発と評価、ならびに材料の特徴を応用したデザインの専門家
 履修プログラム 主：人間環境工学 強化：人間環境工学
 進路の例 材料メーカー（開発研究）、商品開発の企画立案、素材に関する調査分析およびコンサルティング

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目 文理融合リベラル アーツ 基礎講義、語学など	色・音・香1： 分子から見た色と香り 情報処理演習 基礎英語I ドイツ語初歩I	色・音・香10： 色・音・空気（香）と 空間デザイン マクロ経済学入門 生命と環境4： 生物人類学 スポーツ健康実習 基礎英語II ドイツ語初歩II	水の安全保障 ミクロ経済学入門 中級英語I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて 2単位） 色・音・香3： 色・音・香の物理学 中級英語II	LA科目、基礎講義 （関心に応じて 2単位）			
人間環境工学基礎科目群 （工学系）	工学基礎数学 基礎化学 工学基礎物理学	工学基礎解析学 データサイエンス（基礎） 住居学概論	材料基礎実験 生物化学 環境衛生学 物理化学 データサイエンス （中級）	統計学演習				
人間環境工学基礎科目群 （共創系）		データ計測処理演習	設計製造演習	環境心理と調査法 材料設計演習	デジタルファブリケーション演習 機械学習	データマイニング 応用データ解析		
人間環境工学発展科目群	身体形質と文化		建築環境工学 高分子化学	機器分析演習 材料とデザイン	サステナブル 環境論 水環境工学 生活材料物性 生体材料学			
共創工学共通科目群	共創工学総論 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		技術と倫理【1】 共創工学特別講義【1】 デザイン思考と ロジックモデル		共創インターンシップI 共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】	卒業研究演習		
共創工学応用科目群 （人間環境工学）					環境工学実験実習 生活工学実験実習 人間工学実験実習	デザインPBL【1】 生活材料PBL【1】	卒業研究【10】 共創輪講	
履修単位数	39 単位		42 単位		29 単位		14 単位	
内コア科目単位数	20 単位		12 単位		2 単位			

合計 124 単位
内コア科目 34 単位

履修モデルC 履修プログラム 進路の例	建築・都市デザインとデジタル環境についての専門家 主：人間環境工学 強化：人間環境工学 官公庁（地域計画における技術職、行政職）、一級建築士、デザイナー	資格： 一級建築士受験資格 （実務要件2年の場合）
---------------------------	--	---------------------------------

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1 年次履修科目		2 年次履修科目		3 年次履修科目		4 年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目 文理融合リベラルアーツ 基礎講義、語学など	情報処理演習 基礎英語I	○色・音・香10： 色・音・空気（香）と 空間デザイン マクロ経済学入門 生命と環境4： 生物人類学 基礎英語II	水の安全保障 ミクロ経済学入門 LA科目、基礎講義 （関心に応じて 2単位） 中級英語I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて 2単位） 中級英語II	LA科目、基礎講義 （関心に応じて 2単位）うち、○建築 関連【4】 グローバル・イングリッ シュI	LA科目、基礎講義 （関心に応じて 2単位） グローバル・イングリッ シュII		
人間環境工学基礎科目群 （工学系）	工学基礎数学 基礎化学 工学基礎物理学	工学基礎解析学 データサイエンス （基礎） ○設計製図基礎演習 ○住居学概論 ○建築一般構造	○材料基礎実験 ○建築環境計画論 ○人体計測学演習 I 物理化学					
人間環境工学基礎科目群 （共創系）			○設計製図演習I ○BIM演習	○環境心理と調査法 ○設計製図演習II		○設計製図演習III		
人間環境工学発展科目群		○基礎構造力学	○日本建築史 ○建築構法計画【1】 ○建築環境工学 ○建築意匠論	生体計測制御工学 ○西洋建築史 ○建築材料学 ○建築設備学 ○応用建築構造	○サステナブル環境 論 ○生産とデザイン ○建築法規			
共創工学共通科目群	共創工学総論		共創工学フィールドワーク【1】 デザイン思考と ロジックモデル 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		○共創インターンシップII（建築） 共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】	卒業研究演習		
共創工学応用科目群 （人間環境工学）					○環境工学実験実習 ○生活工学実験実習 ○人間工学実験実習	○デザインPBL【1】 ○環境共生PBL【1】	卒業研究【10】 共創輪講	
履修単位数	34 単位		49 単位		27 単位		14 単位	
内コア科目単位数	14 単位		12 単位		8 単位			
建築系単位数（○印）	10 単位		29 単位		18 単位			

合計 124 単位
内コア科目 34 単位
建築系単位数（○印） 61 単位

履修モデルD 履修プログラム 進路の例	環境衛生（特に水）、及び環境評価に関する専門家 主：人間環境工学 強化：人間環境工学 官公庁（地域計画における技術職、行政職）、SDG'sに関する企画立案の専門職、コンサルタント
------------------------------------	--

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目 文理融合リベラルアーツ 基礎講義、語学など	生命と環境7: 生活と環境 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎英語I	色・音・香10: 色・音・空気（香）と 空間デザイン マクロ経済学入門 基礎英語II	生活世界の安全保障 9: 水の安全保障 ミクロ経済学入門 中級英語I	生命と環境10: 環境問題と社会 LA科目、基礎講義 （関心に応じて 2単位） 中級英語II	LA科目、基礎講義 （関心に応じて 4単位） グローバル・イングリッ シュI		グローバル・イングリッ シュII	
人間環境工学基礎科目群 （工学系）	工学基礎数学 基礎化学 工学基礎物理学	工学基礎解析学 データサイエンス（基 礎） 有機化学 設計製図基礎演習 有機化学	材料基礎実験 生物化学 環境衛生学 物理化学 データサイエンス （中級）					
人間環境工学基礎科目群 （共創系）		データ計測処理演習	BIM演習	環境心理と調査法 材料設計演習	機械学習	社会共創マネジメント PBL 応用データ解析		
人間環境工学発展科目群			都市デザイン 高分子化学 建築環境工学	建築設備学 機器分析演習	サステナブル環境論 水環境工学 建築法規			
共創工学共通科目群	共創工学総論	共創プログラミング 【1】	知的財産論【1】 技術と倫理【1】 デザイン思考と ロジックモデル 共創工学フィールドワーク【1】 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		共創インターンシップI 共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】	卒業研究演習		
共創工学応用科目群 （人間環境工学）					環境工学実験実習 生活工学実験実習 人間工学実験実習	生活材料PBL【1】 環境共生PBL【1】	卒業研究【10】 共創輪講	
履修単位数	35 単位		44 単位		31 単位		14 単位	
内コア科目単位数	14 単位		12 単位		8 単位			

合計 124 単位
内コア科目 34 単位

履修モデル (3年次編入学) 履修プログラム 進路の例	建築・都市デザインとデジタル環境についての専門家	資格：	一級建築士受験資格
	主：人間環境工学 強化：人間環境工学		(実務要件2年の場合)
	官公庁(地域計画における技術職、行政職)、一級建築士、デザイナー		

太字…必修科目、【 】内…単位数 (2単位科目は省略)

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目 文理融合リベラルアーツ 基礎講義、語学など	LA科目、基礎講義【4】 情報処理演習 基礎英語I	LA科目、基礎講義【4】 基礎英語II	LA科目、基礎講義【4】 グローバル・イングリッシュI 中級英語I	LA科目、基礎講義【4】 グローバル・イングリッシュII 中級英語II	LA科目、基礎講義(2単位) スポーツ健康実習			
人間環境工学基礎科目群 (工学系)	工学基礎数学 工学基礎物理学	工学基礎解析学 データサイエンス(基礎) ○設計製図基礎演習 ○住居学概論 ○建築一般構造	○材料基礎実験 ○建築環境計画論 ○人体計測学演習I		基礎化学			
人間環境工学基礎科目群 (共創系)			○BIM演習		○設計製図演習I	○設計製図演習II ○環境心理と調査法		○設計製図演習III
人間環境工学発展科目群	身体形質と文化	○基礎構造力学	○日本建築史 ○サステナブル環境論 ○建築環境工学 ○建築意匠論	○材料とデザイン	○都市デザイン ○建築構法計画【1】 ○生産とデザイン ○建築法規	○西洋建築史 ○応用建築構造 ○建築設備学 ○建築材料学		
共創工学共通科目群					共創工学総論 デザイン思考とロジックモデル ○共創インターンシップII(建築) 共創デザインPBL(LTDEE演習)I【1】		卒業研究演習	
共創工学応用科目群 (人間環境工学)					○環境工学実験実習 ○生活工学実験実習 ○人間工学実験実習	○デザインPBL【1】 ○環境共生PBL【1】	卒業研究【10】	共創輪講
履修単位数	66 単位 (赤字：認定)				42 単位		16 単位	
内コア科目単位数	30 単位 (赤字：認定)				4 単位			
建築系単位数 (○印)	26 単位 (赤字：認定)				31 単位		2 単位	

合計 124 単位
内コア科目 34 単位
建築系単位 (○印) 59 単位

履修モデルA 履修プログラム 進路の例	地理領域 主：文化情報工学 第2：地理環境学副 GISを用いる地域計画・まちづくり系コンサルティング、官公庁
---------------------------	--

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1 年次履修科目		2 年次履修科目		3 年次履修科目		4 年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目 文理融合リベラルアーツ、 基礎講義、情報、外国語な ど	LA科目、基礎講義 (関心に応じて2単位) 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎英語I	LA科目、基礎講義 (統計学ほか4単位) 基礎英語II	LA科目、基礎講義 (関心に応じて4単位) 中級英語I	LA科目、基礎講義 (関心に応じて2単位) 情報処理学 中級英語II	グローバル・イングリッシュ I	LA科目、基礎講義 (関心に応じて2単位) プログラミング演習 グローバル・イングリッシュ II		
全学共通科目（キャリア教 育）			アントレプレナーシップ演 習（集中【1】）					
文化情報工学基礎科目群 （人文学系）	自然と人間	人間と空間						
文化情報工学基礎科目群 （データサイエンス系）	文化情報工学総論	データサイエンス（基礎）	データサイエンス（中級）	データサイエンス（上級）	機械学習	データマイニング		
文化情報工学基礎科目群 （情報工学系）	文化情報工学基礎演習 （集中）	インターネット工学 コンピュータシステム序論 設計製図基礎演習		文化情報デザイン工学 データ構造とアルゴリズム	データベース工学			
文化情報工学発展科目群 （人文情報学系・GIS学術士）					地理情報学 歴史情報学	地理情報学演習 歴史情報学演習		
文化情報工学発展科目群 （情報工学系）				データ解析序論		統計学演習 データベース設計演習		
共創工学共通科目群	共創工学総論	共創プログラミング【1】	デザイン思考とロジックモデル 共創工学フィールドワーク【1】 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】		卒業研究演習 共創工学特別講義【1】	
共創工学応用科目群 （文化情報工学）							卒業研究【8】 データマイニング演習	
第2のプログラム 地理環境学副 （地域調査士・GIS学術士）		自然地理学	都市地理学 地理学分析基礎演習I 都市と自然	地理学分析基礎演習II	地図学（集中）	都市・福祉地理学演習I 地誌学	都市・福祉地理学演習II	地理学フィールドワーク（不定期）
その他			都市デザイン		社会共創マネジメントPBL			
履修単位数	35 単位		37 単位		35 単位		17 単位	
内コア科目単位数	14 単位		12 単位		8 単位			

合計 124 単位
内コア科目 34 単位

履修モデルB	歴史領域
履修プログラム	主：文化情報工学 第2：比較歴史学
進路の例	情報・コンサルティング、官公庁、史料館

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目（教養） 文理融合リベラルアーツ 基礎講義、情報、外国語など	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎フランス語I・II 基礎英語I	LA科目、基礎講義 （統計学ほか4単位） 基礎フランス語III・IV 基礎英語II	LA科目、基礎講義 （関心に応じて4単位） 中級英語I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 中級英語II	グローバル・イングリッシュ I			
全学共通科目（キャリア教育）	お茶の水女子大学論		女性のキャリアと経済		アントレプレナーシップ 演習（集中【1】）		アントレプレナーシップ 演習（集中【1】）	
文化情報工学基礎科目群 （人文学系）	西洋史概説	日本史概説						
文化情報工学基礎科目群 （データサイエンス系）	文化情報工学総論	データサイエンス（基礎）	データサイエンス（中級）	データサイエンス（上級）	機械学習	データマイニング		
文化情報工学基礎科目群 （情報工学系）	文化情報工学基礎演習 （集中）	インターネット工学 コンピュータシステム序論		文化情報デザイン工学	データベース工学		情報と職業	
文化情報工学発展科目群 （人文情報学系）					歴史情報学 地理情報学	歴史情報学演習 地理情報学演習		
文化情報工学発展科目群 （情報工学系）				データ解析序論		データベース設計演習 統計学演習		
共創工学共通科目群	共創工学総論	共創プログラミング【1】	デザイン思考とロジックモデル 知的財産論【1】 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】		卒業研究演習 共創インターンシップI（集中）	
共創工学応用科目群 （文化情報工学）							卒業研究【8】 データマイニング演習 データベース研究	
第2のプログラム 比較歴史学副	比較文化史 日本文化史概論	比較社会史	古文書学	歴史資料学	日本古代史演習I 日本古代中世文化史	日本古代史演習II	日本古代史料演習I	日本古代史料演習II
履修単位数	47 単位		28 単位		28 単位		21 単位	
内コア科目単位数	22 単位		10 単位		2 単位			

合計 124 単位
内コア科目 34 単位

履修モデルC 履修プログラム 進路の例	言語領域 主：文化情報工学 第2：中国語圏言語文化 情報・コンサルティング、新聞放送出版文化、教育
---------------------------	---

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1 年次履修科目		2 年次履修科目		3 年次履修科目		4 年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目（教養） 文理融合リベラルアーツ 基礎講義、情報、外国語など	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎中国語I・II 基礎英語I	LA科目、基礎講義 （統計学ほか4単位） 基礎中国語III・IV 基礎英語II	LA科目、基礎講義 （関心に応じて4単位） 中級英語I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理学 中級英語II				
全学共通科目（キャリア教育）					アントレプレナーシップ 演習（集中【1】）		アントレプレナーシップ 演習（集中【1】）	
文化情報工学基礎科目群 （人文学系）		中国現代文学史 中国古典文学史（宋～清）						
文化情報工学基礎科目群 （データサイエンス系）	文化情報工学総論	データサイエンス（基礎）	データサイエンス（中級）	データサイエンス（上級）	機械学習	データマイニング		
文化情報工学基礎科目群 （情報工学系）	文化情報工学基礎演習 （集中）	インターネット工学		文化情報デザイン工学	データベース工学 情報倫理		情報と職業	
文化情報工学発展科目群 （人文情報学系）					言語情報学 文化情報学	言語情報学演習 文化情報学演習		
文化情報工学発展科目群 （情報工学系）				センサーと人間工学		データベース設計演習 統計学演習		
共創工学共通科目群	共創工学総論	共創プログラミング【1】	知的財産論【1】 デザイン思考とロジックモデル 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】		共創インターンシップI（集中）	
共創工学応用科目 （文化情報工学）							卒業研究演習 卒業研究【8】 データマイニング演習 テキストアナリティクス研究 文化情報デザイン研究	
第2のプログラム 中国語圏言語文化		中国古典文学史（先秦～唐） 中国語ヒアリング基礎	中国語学概論	中国語古典文献講読基礎	中国語作文基礎演習 中国語統語論	中国語作文応用演習 日中対照言語学	中国語文法論	中国現代語学特別演習
履修単位数	41 単位		28 単位		30 単位		25 単位	
内コア科目単位数	22 単位		12 単位					

合計
内コア科目

124 単位
34 単位

履修モデルD	文化領域
履修プログラム	主：文化情報工学 第2：日本語・日本文学
進路の例	新聞放送出版文化、エンターテインメント産業、製造販売（メーカー）、学芸員、官公庁

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目（教養） 文理融合リベラルアーツ 基礎講義、情報、外国語など	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎英語I	LA科目、基礎講義 （統計学ほか4単位） 基礎英語II	LA科目、基礎講義 （関心に応じて4単位） 中級英語I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理学 中級英語II	グローバル・イングリッシュ I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） プログラミング演習 グローバル・イングリッシュ II		
文化情報工学基礎科目群 （人文学系）			言語学入門I	言語学入門II				
文化情報工学基礎科目群 （データサイエンス系）	文化情報工学総論	データサイエンス（基礎）	データサイエンス（中級）	データサイエンス（上級）	機械学習	データマイニング		
文化情報工学基礎科目群 （情報工芸系）	文化情報工学基礎演習 （集中）	インターネット工学		文化情報デザイン工学	データベース工学			
文化情報工学発展科目群 （人文情報学系）					文化情報学 芸術情報学	文化情報学演習 芸術情報学演習		
文化情報工学発展科目群 （情報工芸系）						文化情報デザイン演習		
共創工学共通科目群	共創工学総論		デザイン思考とロジックモデル 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】		卒業研究演習	
共創工学応用科目群 （文化情報工学）							卒業研究【8】 データマイニング演習 文化情報学研究	
第2のプログラム 日本語・日本文学	日本文学概説 日本語学通論	日本文学論講読III（近世）	日本語語彙論 日本語文法総論 日本文学論講読IV（近代）	日本文学論講読II（中世）	日本古典文学論特殊研究（近世）	日本古典文学論特殊講義II（近世） 日本古典文学論特殊研究（中世）		
その他 （博物館学芸員養成課程）		博物館学概論 生涯学習概論 博物館資料論		博物館資料保存論 博物館教育論	博物館経営論 博物館展示論	博物館情報メディア論	博物館実習【3】	
履修単位数	36 単位		37 単位		37 単位		17 単位	
内コア科目単位数	14 単位		12 単位		8 単位			

合計 127 単位※
内コア科目 34 単位
※博物館学芸員資格取得に必要な単位数を含む。

履修モデルE 履修プログラム 進路の例	思想領域 主：文化情報工学 第2：哲学・倫理学・美術史 情報・コンサルティング、官公庁
---------------------------	---

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目（教養） 文理融合リベラルアーツ、 基礎講義、情報、外国語な ど	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎英語I	LA科目、基礎講義 （統計学ほか4単位） 基礎英語II	LA科目、基礎講義 （関心に応じて4単位） 中級英語I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理学 中級英語II	プログラミング演習 グローバル・イングリッシュ I	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） グローバル・イングリッシュ II		
全学共通科目（キャリア教 育）					アントレプレナーシップ演習 （集中【1】）			
文化情報工学基礎科目群 （人文学系）	哲学基礎論		倫理学基礎論					
文化情報工学基礎科目群 （データサイエンス系）	文化情報工学総論	データサイエンス（基礎）	データサイエンス（中級）	データサイエンス（上級）	機械学習	データマイニング		
文化情報工学基礎科目群 （情報工学系）	文化情報工学基礎演習 （集中）	インターネット工学		文化情報デザイン工学 データ構造とアルゴリズム マルチメディア	データベース工学 情報倫理			
文化情報工学発展科目群 （人文情報学系・GIS学術士）					思想情報学 言語情報学	思想情報学演習 言語情報学演習		
文化情報工学発展科目群 （情報工学系）				データ解析序論		統計学演習 データベース設計演習		
共創工学共通科目群	共創工学総論		デザイン思考とロジックモデル 共創工学フィールドワーク【1】 共創デザインPBL（LIDEE演習）I【1】		共創デザインPBL（LIDEE演習）II【1】		卒業研究演習	
共創工学応用科目群 （文化情報工学）							卒業研究【8】 データマイニング演習 テキストアナリティクス研究	
第2のプログラム 哲学・倫理学・美術史副	哲学概論I	哲学概論II	哲学A 哲学研究指導A【4】	哲学B	哲学研究指導B【4】 哲学演習I	哲学演習II	哲学研究指導C【4】	
履修単位数 内コア科目単位数	30 単位 14 単位		38 単位 12 単位		38 単位 8 単位		18 単位	

合計
内コア科目 124 単位
34 単位

履修モデル	情報・工学領域
履修プログラム	主：文化情報工学 第2：文化情報工学強化
進路の例	情報・コンサルティング、金融保険流通、官公庁

太字…必修科目、【 】内…単位数（2単位科目は省略）

	1年次履修科目		2年次履修科目		3年次履修科目		4年次履修科目	
	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
コア科目（教養） 文理融合リベラルアーツ 基礎講義、情報、外国語 など	基礎線形代数学 基礎微積分学 情報処理演習 スポーツ健康実習 基礎英語Ⅰ	統計学 基礎英語Ⅱ	LA科目、基礎講義 （関心に応じて4単位） 中級英語Ⅰ	LA科目、基礎講義 （関心に応じて2単位） 情報処理学 中級英語Ⅱ	グローバル・イングリッシュ Ⅰ	プログラミング演習 コンピュータ演習 グローバル・イングリッシュ Ⅱ		
全学共通科目（キャリア 教育）		女性のキャリアと経済						
文化情報工学基礎科目群 （人文学系）	社会学総論	人間と空間						
文化情報工学基礎科目群 （データサイエンス系）	文化情報工学総論	データサイエンス（基礎）	データサイエンス（中級）	データサイエンス（上級）	機械学習	データマイニング		
文化情報工学基礎科目群 （情報工学系）	文化情報工学基礎演習 （集中） 数理基礎論 工学基礎数学	インターネット工学 確率序論 工学基礎解析学	コンピュータアーキテクチャⅠ	文化情報デザイン工学 データ構造とアルゴリズム マルチメディア コンピュータアーキテクチャⅡ	データベース工学	コンピュータネットワークⅠ		
文化情報工学発展科目群 （人文情報学系）					地理情報学 思想情報学	地理情報学演習 思想情報学演習		
文化情報工学発展科目群 （情報工学系）				データ解析序論	コンピュータグラフィックス ヒューマンインターフェイス	コンピュータビジョン 応用統計学演習		
共創工学共通科目群	共創工学総論	共創プログラミング【1】	デザイン思考とロジックモデル 技術と倫理【1】				卒業研究演習	
共創工学応用科目群 （文化情報工学）							卒業研究【8】 テキストマイニング演習 文化情報統計数理研究 文化情報CGV研究	
その他			生活と財政	国際金融論	生活と金融			
履修単位数	39 単位		35 単位		34 単位		16 単位	
内コア科目単位数	14 単位		12 単位		8 単位			

合計
内コア科目 124 単位
34 単位

共創工学部 文化情報工学科

研究領域と 教員構成

養成する 人材像

- (1) 多様性を包摂し持続可能で豊かな文化を有する社会の実現に向け、人文学・社会科学と工学の知を協働し、新しい文化や価値を共創できる人材
- (2) 人間の文化と社会に関わる資料をデジタル技術によって収集・加工し、データサイエンスを応用して多角的に解析し、工学的な発見・発想と技術を用い、文化や価値を考案・創造する人材
- (3) 文化のイノベーションの推進を目指して、社会との対話のもとに、新たな文化や価値の実装・普及ができる人材

大学院

情報・コンサルティング、金融・保険・流通
新聞放送出版文化、メーカー、官公庁など

人間環境 工学科

人間領域
マテリアル領域
環境領域

文化情報 工学科

人間の文化と社会に関わる知識（人文知）とデータサイエンスを結びつけ（①専門知）、課題を見出し（②発見力）、工学的発想や技術により新たな文化や価値を考案し（③発想力）、文化のイノベーションの推進を目指して、それを作品や表現として具現化し（④デザイン力）、様々な人々との対話（⑤対話力）を通じて、社会での実践を図る力を身につける。

学士・修士
一貫教育トラック

卒業研究

各自の社会文化的な課題にそって、実験・調査・資料収集を行い、データサイエンスや工学の知識技能を用いて、データの解析や文化のデザインに取り組む。

資料・情報

データサイエンス
情報工学

文化や価値の創造
個の尊重、多様性の包摂、豊かな文化

データサイエンス・工学領域

人文情報学領域

分野を横断した相互連携 ○専任教員配置

- 教授（コンピュータビジョン）
- 教授（応用数理）
※2025年度から准教授

- 教授（地理情報学）
- 教授（言語情報学）
- 准教授（文化情報学）
- 助教（歴史情報学）
- 助教（思想情報学）
- 教授（芸術情報学）

- 准教授（テキストアナリティクス）
- 准教授（データベース）
- 講師（システムデザイン）

センターや
他学部との
教育研究連携

文教育学部

人文科学科
言語文化学科
人間社会科学科
芸術・表現行動学科

理学部
情報科学科

生活科学部
生活文化学講座

文理融合 AI・データサイエンスセンター